

認知症の人にやさしい燕市を目指して

つばめ認知症あんしんガイド

誕生から現在に至るまでの考察など



平成30年度 認知症地域支援推進員研修

2018年6月5日 第1回 東京会場

燕市分水地区地域包括支援センター

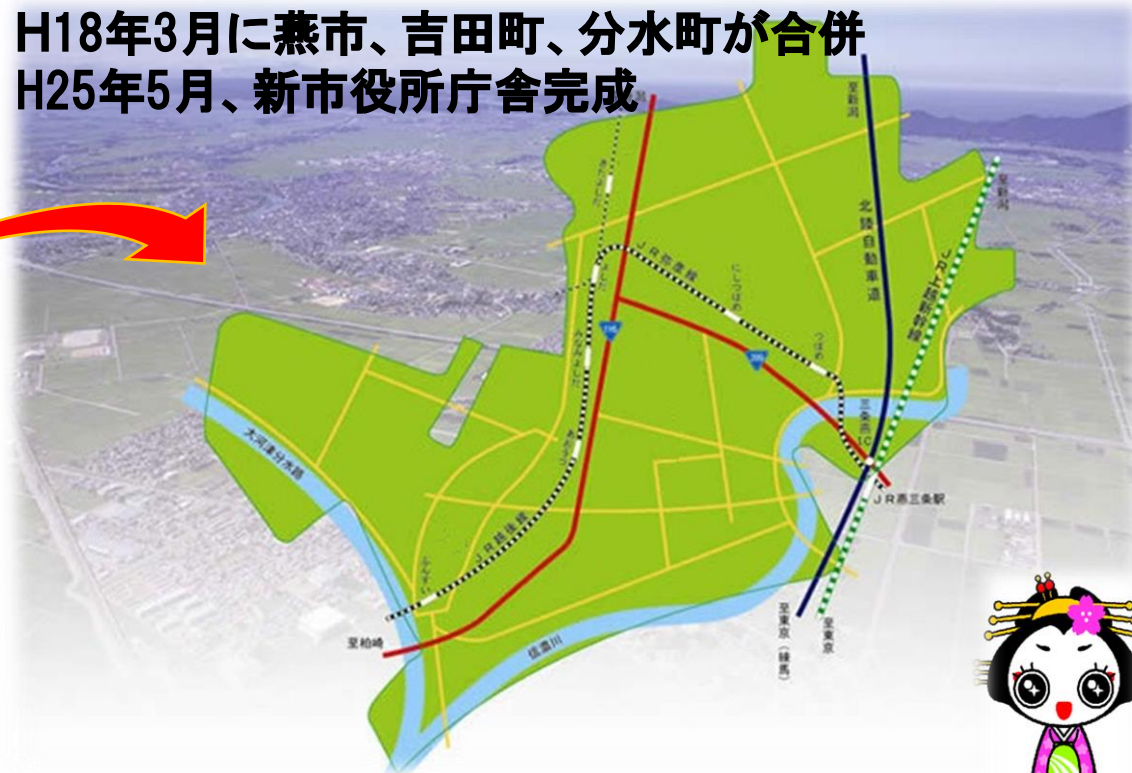
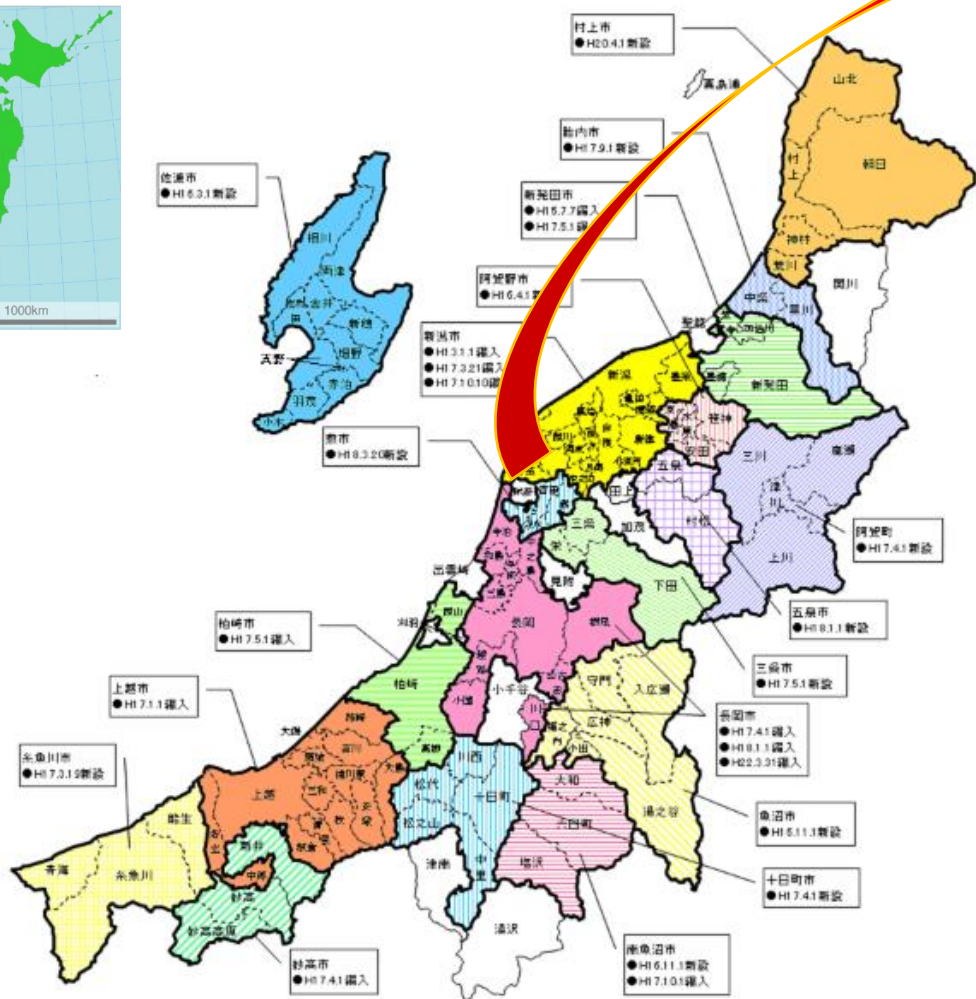
燕市認知症総合支援事業

燕市認知症地域支援推進員 力石雅博

燕市の紹介



H18年3月に燕市、吉田町、分水町が合併
H25年5月、新市役所庁舎完成



ノーベル賞授賞式晩餐会で使われるカトラリー、
古くからの商業地、桜の名所...



燕市の状況 その1 H30年2月 現在	
人口	80,450人
65歳以上人口	23,882人
高齢化率	29.68%
世帯数	29,248世帯
介護認定者数	4,419人
要介護認定者率	18.5%
認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上 ※	2,786人
第6期介護保険料(月額)	6,300円
地域包括支援センター	4か所(委託)
生活圏域数	4か所

※H28.12 現在

燕市の状況 その2 H30年2月 現在

居宅介護支援事業所

20

訪問介護

10

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

1

訪問看護

6

訪問入浴

1

通所介護

21

通所リハビリ

3

福祉用具貸与

3

福祉用具販売

5

燕市の状況 その3 H30年2月 現在

認知症グループホーム	13
認知症対応型通所介護	7
認知症対応型訪問介護	0
小規模多機能型居宅介護	9
短期入所生活介護施設（空床利用）	10(4)
短期入所療養介護施設	3
介護老人保健施設	3
介護老人福祉施設	6
地域密着型介護老人福祉施設	3

燕市認知症総合支援事業

認知症地域支援推進員の動き

- 平成26年1月、推進員研修受講
- 平成26年4月から認知症施策総合推進事業として開始、専属の認知症地域支援推進員を1名、分水包括に配置
- 平成27年に燕市認知症対策部会を設置、事務局として参加
- 平成28年1月から燕市役所長寿福祉課に出向
- 平成28年度から事業名を上記名称に変更
- 平成29年度から事業名が上記タイトルに変更
- 平成29年度から認知症初期集中支援事業の立ち上げに協力
- 平成30年度から上記チームのコーディネーターに就く

燕市認知症施策総合推進事業業務委託仕様書

業務内容

(1) 認知症地域支援体制の整備

- ① 支援ネットワークの構築
- ② 地域ケア会議への参加
- ③ **認知症カフェの開催**
- ④ 研修会・事例検討会の開催
- ⑤ 専門性を活かした個別支援
- ⑥ 「認知症の人と介護者のつどい」の開催
- ⑦ **認知症の人の見守り・声かけ・搜索訓練の実施**

(2) 医療との連携推進

- ① サポート医とかかりつけ医、認知症疾患医療センターと基幹病院等との連携
- ② **認知症ケアパス**
ケアパスの作成・更新、ケアパスの普及に努める

(3) 啓発活動

- ① 認知症サポーター養成講座の共同開催
- ② 一般市民向けの認知症に関する講演やセミナーの開催

(4) その他

何をしよう？ ⇒ 定期的にカフェをやってみよう ⇒ そうしたら…



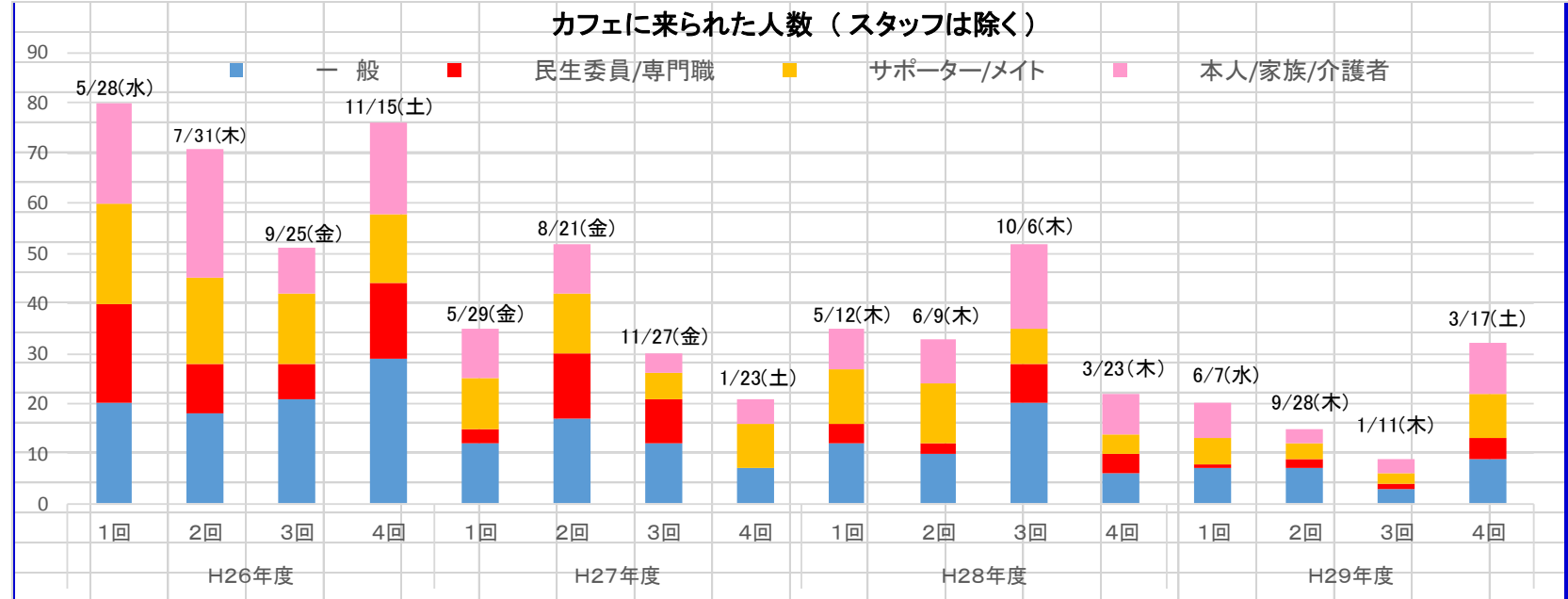
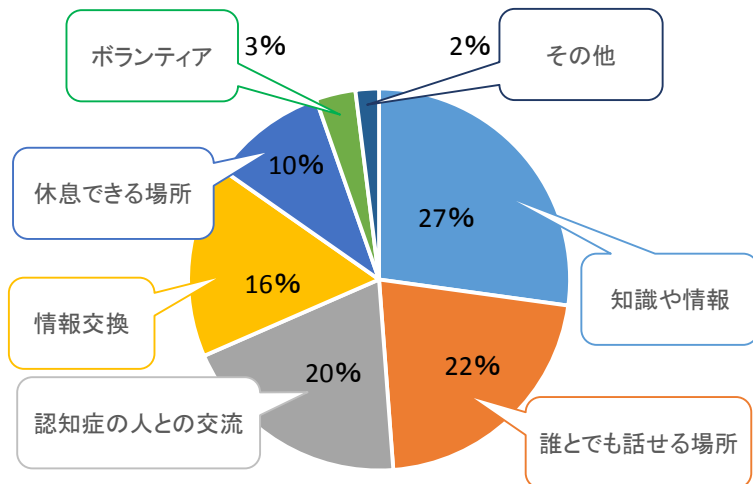
いろいろな人と繋がって、
多くのことを学びました



燕市役所以外での開催				
	常設	定期	不定	計合
燕 地区	0	1	2	3
吉田地区	0	2	0	2
分水地区	3	2	0	5
計	3	5	2	10

市役所以外の参加人数は把握していません

オレンジリングカフェに望むこと



● < 燕市地域ケア会議体制図 >

【基本理念】 高齢者が住み慣れた地域で、快適な生活が営める総合的な福祉の増進
(第7期介護保険事業計画)

困難事例など個別地域ケア会議（随時）
ケアマネ支援定例事例検討会（年 会）
虐待対応マニュアルに基づくケース会議（随時）
介護予防事例検討

各圏域ごと事例検討会
各包括ごとの
総合相談等

各圏域で検討すべき
地域課題を地域ケア
会議の課題として抽
出

包括的支援事業
地域包括支援センター

市の事務局へ「提言課題」を提出
事務局で課題整理し、地域ケア推進
会議へ提出する

各圏域ごとの
地域ケア会議

市全体で検討すべき
地域課題を
燕市地域ケア推進会議
(全体会) に提言する。

各圏域支え合い活動
推進会議
(第2 圏域団体)

生活支援体制整備事業
生活支援コーディネーター第2層

まちづくり協議会など地区支え合い
活動推進委員会
コミュニティソーシャルワーカー (CSW)
第3層

燕市地域ケア推進会議（全体会）

各部会の検討内容の情報共有や意見交換、全体での承認等を行う。
また、各圏域の地域ケア会議からの課題の提言を受け、詳しく検討する部会（専門部会）
やメンバー構成等を決定する。行政の対応が必要な事案については市に提案する

【専門部会（三部会）】

それぞれの分野に関する課題の検討を行うと共に、地域ケア推進会議から依頼が
あった課題についても検討を行う。

総合事業部会
燕市支え合い活動
推進会議
(第1 圏域団体)

在宅医療・介護
連携推進部会

認知症支援部会
初期・中支援チーム
検討委員会

業務改善に関する課題の解決
地域包括支援センター
管理委員会
主任ケアマネ部会
保護師・看護部会
社会福祉士部会
地域ケア会議部会（支え合い会議含む）（新）
サービス事業連絡協議会
通所分科会
訪問分科会
短期入所分科会
介護人材表彰部門（新）
在宅介護支援事業所情報交換会

各圏域とは4つの生活圏域であり、
地域包括支援センターの担当区域

地域課題検討
各地域包括支援センター主催の「地域ケア会議」にて検討した結果、市に提言すべき課題が抽出された場合、長寿福祉課で取りまとめ、直近の燕市地域ケア推進会議にて報告する。地域ケア推進会議にて、提言について話し合ったり、提言課題を検討する部会や構成メンバーを決定する。

生活支援体制整備事業
生活支援コーディネーター第1層

在宅医療・介護連携推進事業
燕・弥生医療介護センター

認知症総合支援事業
認知症地域支援推進員
認知症初期・中支援チーム

【各部会ワーキンググループ】
必要時、各部会から上がった課題を専門的に検討する。
<構成メンバー>
※部会を越えて柔軟に構成
※部会にて検討し、部会長が指名する者
(総務なし)

認知症ケアパス (復習)

ケアパス (Care Pathway) ケア経路、道筋



子どもから高齢者の方まで、より多くの人々が認知症を正しく理解をするとともに、「認知症かな？」と思った時から、その進行状況にあわせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスや福祉サービスを受けられるのか、分かりやすく示したもの

利用する人と地域、専門職等が目標を共有、達成に向けての連携の仕組み

今ある資源を確認し、不足している所などを補てんしていくためのツール

燕市のケアパス

◎ コンセプト

① 見やすい

- 文字は大きめ、イラスト多め
- 情報を詰め込み過ぎない、詳細部分は別紙とする

② 配って終わりにしない

- 相談援助職が説明するのが前提
- 地域性の考慮



燕市のケアパス

◎ 作成

① 燕市認知症支援部会

- 専門職と市民で構成、包括・推進員等は事務局として関与

◎ 内容

- ① 病気としての認知症、利用できるサービス名など
- ② 詳細は市役所HP ⇒ 専門職の持つ別冊

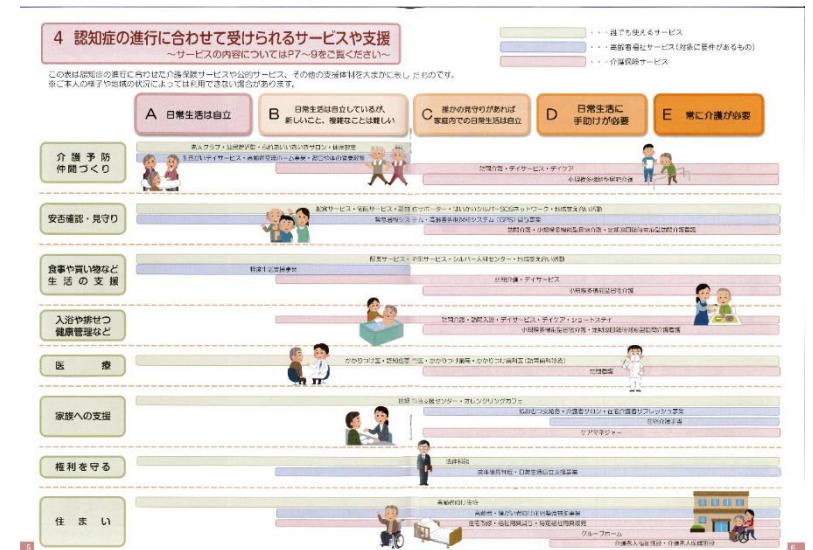
燕市のケアパス

◎ 配布

- ① H28年3月、全戸配布
- ② 市役所・地域包括支援センター等に設置

◎ 活用

- ① 相談初期の説明に使用・・・



燕市のケアパス

◎反省💧

- ケアパスを提示しながらの初回相談
- 説明しながらページを進める
- 殆どの方は初見であった……



燕市のケアパス

◎反省💧💧

- 10人中9人の言葉は・・・
- こんな良いものがあるのなら、はじめっからみんなに配ればいいねっか！

3月に配布、4月には資源ごみとして・・・(; ∇ ;)



燕市のケアパス

◎反省👉👉👉

- 今の自分（達）には不要 と判断

☆ 必要な時に、すぐに手元に届けるには
市担当者と推進員で相談・・・



燕市のケアパス



◎反省

●診断した医師から本人・家族に渡して貰おう！

●ケアパスやカフェ等の情報を封筒にセット

☆認知症初期セットを設置

☆1診療所 ⇒ 1病院、3診療所 + 燕警察署



平成28年12月24日(土)

午後1時30分 ~ 3時30分

認知症 介護者のつどい



燕市民交流センター
(旧燕市吉田庁舎) 1階多

お申込み、
お問い合わせ先
燕市役所 長寿福祉課内

燕市 Tsul
〒959-0295 新潟県
TEL: 0256-92-11
E-mail: info@city.t
ホームページ: http://

長寿福祉課 介護係 係長



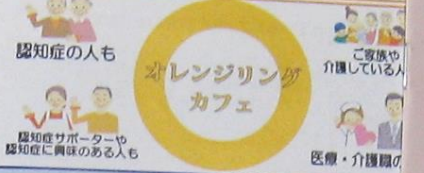
認知症の介護でわからないこと
などはありませんか?
認知症介護者のつどいは、同じ
悩みや経験を持つ人たちがつど
い流を深めていける場所です。
あなたの気持ちを気兼ねなく、
みませんか?

参加費 350円

この手紙をご覧のみなさん
この封筒は、認知症と診断された方
から燕市にお願ひしたもので
燕市では、認知症の方やその介護を
燕市で行っている支援の一例にな
ぜひご利用ください。
認知症に関するご相談にも
乗っております。
今お困りのことから今後の不安ま
お気軽に申し出ください。
ご不明な点がございましたら
お問い合わせください。

オレンジリングカフェまっぴ

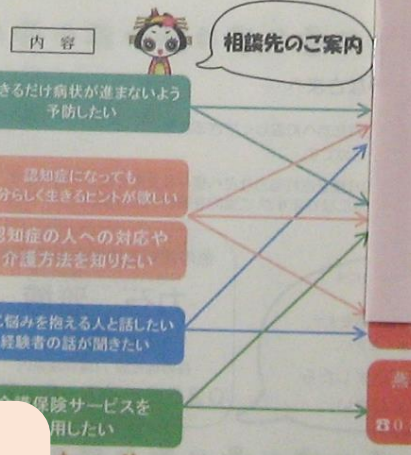
オレンジリングカフェとは?
認知症の人やその家族、医師・介護職の人、認知症に関心のある人、誰もが
「和」になる場所になれば、どの思いのこもったカフェです。
身近なカフェでお茶を飲みながら、認知症の相談や情報交換、参加者同士の交流
ホッとする時間を増やしていきたいませんか?
平成28年12月1日現在



燕市役所での開催
第3回は10月6日(木)に終了いたしました。
ご参加いただきありがとうございました。

次回は3月に開催予定
詳細は決まり次第お知らせいたしま

お問い合わせ先 燕市役所 長寿福祉課 介護保険係・認知症地域支援推進員
0256-77-8177



認知症の人にやさしいつばめを目指して

つばめ認知症 あんしんガイド



このガイドブックは・・・
子どもから高齢者の方まで、より多くの方が認知症を正しく理解するとともに、
「認知症かな?」と思ったときから、その進行状況にあわせて、いつ、どこで、どのような
医療・介護サービスや福祉サービスを受けられるのか、分かりやすく示したものです。
認知症になっても本人の意思が尊重され、介護される人も介護する人も、できる限り
住み慣れた地域で、安心して笑顔で暮らし続けることができるようにつくりました。

燕市

平成28年3月 燕市認知症ケアバス 第1版 問い合わせ先は裏表紙へ

地域包括支援センターは
高齢者の健やかな
暮らしを応援します!



*燕市は地域包括支援センターに業務を委託しています。

燕市

燕市認知症地域支援推進員



燕市役所 長寿福祉課 介護保険係内

0256-77-8177

認知症初期セット

燕市のケアパス

◎現在の状況

- 多い月には10セット以上の初期セットが1診療所から配布
- 警察署からはご家族に『市役所、または包括へ相談を・・・』と、言葉を添えて渡して貰っている

※ 課題 更新作業の煩雑さ ⇒ それだけ???

◎今後の予定

- 認知症支援部会での見直し、修正
- 全戸配布はせず、必要な所へ設置



燕市の認知症施策

余談ですが・・・

◎認知症高齢者**等**見守り事業（おかえりつばめ～ル）

- 万が一の場合の情報管理・伝達システム
- 監視にならない、日頃からの緩やかな見守りの仕組み
- おかえりつばめ～ルの事前登録者数は13人
- おかえりサポーターは個人・団体合わせて600人



燕市の認知症施策

もう少し・・・

◎影響を及ぼした出来事

◆二つの行方不明案件

- 若年性認知症の人の交通死亡事故
- 『誰にも迷惑をかけたくない』と暮らしていた、
老夫婦の願い



皆さまへのメッセージ

- 推進員が一人で出来る事なんて、たかが知れています
まずはそのところを自覚しましょう
- 周囲の人、専門職や地域の人をどのように巻き込んでいくか、相手の立場に立って考えましょう。
- その為には地域に出て、たくさんの人たちと話をしましょう
今すぐではなくとも、繋がる日が必ず来ます
- 地域の方は自分で出来ない所に介護保険を使おうと考え、ケアマネさんはまずは介護保険、そこで補えない事を地域に求めてきます
その視点の違いを意識しましょう
- PDCAサイクルに、もう一つ『R⇒Report』を加えませんか



PDCAR

燕市オレンジだより No.5

オレンジだよりは燕市の認知症総合支援事業の広報誌です

H29年度の取り組みをご紹介します

2018年3月31日 発行

燕市認知症地域支援推進員
〒959-0295 燕市吉田西太田 1934
燕市長寿福祉課内
0256-92-1111 (内線 2562)

オレンジングカフェ

燕市役所で開催するオレンジングカフェ今年度は関係機関様からテーマに沿ったご講演をいただきました。会場からの質問やご相談にも答えて頂き大好評でした。ご協力をいただき、ありがとうございます。年間 141 人がご来場されています。ご来場ありがとうございました。



	常設	定期	不定	合計
燕地区	0	1	2	3
吉田地区	0	2	0	2
分水地区	3	2	0	5
計	3	5	2	10

市役所以外の参加人数は把握していません

声かけ・捜索訓練、体験



平成 26 年度に分水地区での開催から始まった認知症の人の見守り・声掛け、捜索体験・訓練、今年度は下記の通り5か所での開催に合計 240 人がご参加くださいました。初年度からの通算では 13 回の開催に、自治会を含めた 80 以上の団体から 929 人が参加されています。認知症になっても安心して外出できるまちづくりに、多くの人達が力を合わせてくださった成果と言えるのではないのでしょうか。今年度の特徴として、児童生徒の参加が増えた事と、介護施設などで働く専門職以外の市民の方々がスタッフとして参加くださったことが挙げられます。



地区	吉田		分水		燕		燕		燕	
	市民	スタッフ	市民	スタッフ	市民	スタッフ	市民	スタッフ	市民	スタッフ
月日	7月2日(日)		10月6日(金)		10月21日(土)		11月12日(日)		11月13日(月)	
内容	声かけ		声かけ・捜索		捜索		捜索		声かけ・捜索	
場所	高木地区		分水小学校区		柳山集落		小池公民館周辺		仲町(周辺)	
主催	高木自治会		分水小学校区まちづくり協議会		柳山自治会		杉名自治会		包括さわたり	
参加者 (スタッフは主に専門職)	15	19	25	52	26	15	16	16	18	38
スタッフで参加の住民	5		10		11		32		10	
小計	34		77		41		32		56	
合計			市民 100		スタッフ 140		総合計 240			



団体登録いただいた事業所へお配りするステッカーです

行方のわからなくなった認知症高齢者などの情報を「おかけつばめ〜」の皆様へメールでお知らせする仕組みです。

事前登録とは、1 人で出掛けて帰れなくなるのが心配と言う方などを対象に普段の見守りや、万が一の捜索に役立つ情報を事前に登録しておく制度です。

おかけつばめ〜

- ★情報発信回数 1回
 - ★おかけつばめ〜 (個人) 121人
 - 〃 (団体) 9団体
 - 〃 延べ人数 約600人
 - ★事前登録者数 9人
- 平成30年2月末現在
ご協力ありがとうございます

認知症支援セミナー

12月10日(日)・23日(土)・1月18日(木)



認知症になられた夫の介護を、3年8か月にわたり絵日記につづられた早川美代子様とサポートされた岩崎典子様をお招きし、その時々のお話いただきました。来場者と同じ目線でお話したいと、和室のある燕市三か所の公民館で、介護者としての素直な気持ちを延べ90名の方にお伝えいただきました。共感できる、励みになる、多くの人に聞いて貰いたいと、来場された人からはご好評をいただきました。

RUN 伴 2017 in 燕

9月17日(日)



RUN 伴は日本全国のまちが認知症になっても安心して暮らせる地域になることを目指し、認知症の人と共にタスキをつなぐ列島リレーです。今年は8チーム41人が分水から吉田、ゴールである三燕みどりの森公園までタスキをつなぎました。

認知症サポーターステップアップ講座

事前講習：2月27日 交流会：3月7日・15日・16日



認知症の人との接し方をより詳しく学んだあとに、グループホームのご利用者との交流を通し、認知症の人への理解を更に深めてきました。

今年度が初めての開催となり、9名の方が受講されています。

H30年3月末 燕市の認知症サポーター

5, 388人 (H29年度の受講者数500人)



認知症サポーターになりませんか？

燕市では、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症の人やその家族を支える応援者になっていただく認知症サポーターを養成しています。「認知症ってどんな病気？」「認知症の人に対してどう接すればよいの？」といったことを学びます。

地域の集まりはもちろん、企業や学校などでも認知症サポーター養成講座を開催してみませんか？

詳しくは長寿福祉課 地域支援相談係
(0256-77-8157) まで、ご連絡ください。

4年目となった燕市認知症総合支援事業、皆様のご理解とご協力のもと、年間取り組んでくることが出来ました。今ご報告させていただいたのはほんの一部となりますが、ご協力頂いた皆様に、厚く御礼申し上げます。

平成 30 年度の認知症支援セミナーは、認知症の人ご本人の声を聴こうと考え、5月19日に燕市文化会館に若年性認知症の人をお招きして、ご本人の体験や思い等をご講演いただきました。

平成 30 年度は弥彦村と協働する認知症初期集中支援チームが立ち上がり、ご本人の望む暮らしの継続や実現に向けた取り組みが広がります。

認知症の人にやさしいまちは、すべての人にやさしいまちづくりに繋がると考え、進めていきたいと思っております。



ご清聴 ありがとうございます